

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-113162  
(P2021-113162A)

(43) 公開日 令和3年8月5日(2021.8.5)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 31/122 (2006.01)	A 6 1 K 31/122	4 C 2 0 6
A 6 1 P 39/06 (2006.01)	A 6 1 P 39/06	4 H 0 0 6
C 0 7 C 229/12 (2006.01)	C 0 7 C 229/12 C S P	
C 0 7 C 69/40 (2006.01)	C 0 7 C 69/40	
C 0 7 C 69/42 (2006.01)	C 0 7 C 69/42	

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 31 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2020-5513 (P2020-5513)  
(22) 出願日 令和2年1月16日 (2020.1.16)

(71) 出願人 598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号  
(74) 代理人 100092901  
弁理士 岩橋 祐司  
(74) 代理人 100188260  
弁理士 加藤 慎二  
(72) 発明者 高田 二郎  
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
学校法人福岡大学薬学部内  
(72) 発明者 松永 和久  
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
学校法人福岡大学薬学部内

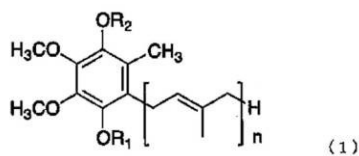
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 光安定性が高く且つ光毒性が低いユビキノール送達剤

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 光安定性が高く且つ光毒性が低いユビキノール送達剤の提供。

【解決手段】 式(1)



(式中R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>はそれぞれ水素原子またはグリシン、N-アシルグリシン、等を意味し、R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>の少なくとも一方はグリシン、N-アシルグリシン、N-アルキルグリシン、等である。nは1~10の整数を意味する。)で表されるユビキノールカルボン酸エステル誘導体またはその塩またはユビキノールカルボン酸エステルの対イオン混合物の1種類を含有する、光安定性が高く且つ光毒性の少ないユビキノール送達剤。

【選択図】 図1

